

善福 光

所属大学：西九州大学 子ども学部 子ども学科

県内インターンシップ先：三光幼稚園

留学先：パース（オーストラリア）

留学期間：2018/3/19～2018/9/15（4年次）

受入機関名：Perth International College of English,  
Treetops A Montessori and International  
Baccalaureate School



### 活動概要と成果

○2018/03/19～2018/06/15 @Perth International College of English

パース市内にある語学学校へ通い、語学力・英語力を身につけ、国際交流・グローバルなどについて様々な国から留学等にきている人や先生との交流を通して自分の中で答えを見つける。活動概要は、1 ホームステイ生活をしオーストラリアの食事や生活スタイル、文化について体験すること。2 語学学校へ通い語学力・英語力を身につけること。3 異なる国籍の人たちと授業などを通して国際交流・グローバルについて考える。

○2018/06/16～2018/09/15

@Treetope A Montessori and International Baccalaureate School

幼稚園から高校までの一貫校で火・金は日本語のアシスタントとして全クラスの日本語の授業に参加し、月・水・木はチルドレンハウス（幼稚園）でモンテッソーリ活動の見学、実践をし、先生に教えてもらいながらアシスタントを行った。毎日子どもたちと過ごす中で、新しいことを学び、知ることの楽しさや自分でできた、できるという子どもたちの活動を見て、私自身インターンシップを行う中で様々な新しい体験をする機会があり、子どもたちが感じている感覚と似た経験をすることができ、それを共有できる語学力と表現力が身についたと感じた。子どもたちと幼稚園内・学校内で生活する中で、名前がなかなか覚えられなかったり、伝えたいことがなかなか伝わらなかったりとはじめの数週間はとても辛く、子どもたちとどのようにしてコミュニケーションを取ったら良いのか、先生に質問したいことがあっても、自分の英語力で伝わらないのではないかなど行動をしていないのに考えて、不安になって、自分自身何をしに来ているのだろうと悩んだ日々がありました。でも、悩みを行動に移して子どもたちや先生と関わりを重ねていくうちに、その悩みは少しずつ小さくなった。このインターンシップでモンテッソーリ教育のことはもちろんですが、考えて悩んだことを行動に移すことで次の考えや悩みができ、自分自身を次の段階へとステップアッ

プしてくれるのだと学んだ。行動力は自分自身を高めるエネルギーだとインターンシップを通して、経験して学ぶことができた。

### 日本発信プロジェクト活動概要と成果

○①折り紙・筆ペンを使って日本語の名前を考える ②公立中・高校での佐賀県の紹介  
ー実行したこと

① 持参した折り紙と筆ペンを使って漢字の名前を考える。語学学校で友達になった、韓国・台湾・コロンビアの人に実行した。 ②公立中・高校の日本語授業へ招待され、佐賀県の紹介（プレゼンテーション）をした。

ー成果・気づいたこと

①成果として、協力してくれた3人はとても喜んでくれたので嬉しかった。気づいたこととしては、漢字の名前を考えるのはなかなか難しく、すぐには思いつかなかった。日本人の友達も協力してくれて、一緒に考え名前をつけることが出来た。一人では思いつかなかった名前が、誰かと一緒に考えることでさらに良い名前を考えることができ、一人よりもだれかと案を出し合うことは大事なことなのだと感じた。また、3人に喜んでもらえるよう、漢字の意味を伝えるためにどのように表現したら良いか考え、伝わった時本当に喜んでくれたので、やってよかったなと達成感を味わうことができた。 ②初めて公立中・高校へ訪問し、インターンシップ先とは異なる授業風景や環境に驚いた。佐賀県の場所や観光地、食べ物について紹介し佐賀県のことを知ってもらった。紹介する中で、食べ物の反応がとても強く、特にイカの活き造りはオーストラリアの子どもたちにとってとても考えられない食べ物のように、画像の中だけでは、食文化の違いなどの異文化交流ができたのではないかと思った。興味を持って話しかけに来てくれた生徒もいたため、とても嬉しかった。

### 留学中及び帰国後の活動を通じて最も成長した経験とそこから学んだこと

渡航してから帰国まで、日本では味わえない不安・ワクワク感を交互に感じた。1度来たことがある国だと思っけていても、以前の自分と現在の自分では感じることや思うことは異なり、なんでも自分で決断し、進めていかななくてはなりません。日本にいたら、同じ・似た目標を持った人と一緒に勉強をし、自分の伝えたいことを日本語として伝えられます。でも、オーストラリアへきて今までとは全く異なる環境で、伝えきれない言葉で伝え何度も惨めな思いをした。言語で伝えきれない思いを体を使って伝えたり、絵を描いて伝えたりと、い

まの自分が伝えられる方法を考えながら伝えることをした。聞いてくれる人、聞いてくれない人、聞こうとしない人など様々だったが、伝わった時の感動・気持ちは言葉では言い表せない思いに繋がった。伝わらないのであれば、諦めようと何度も思った。渡航した数日は何度も諦めた。とても悔しかった。そして、聞いてくれる人がいて、自分が諦めようとした時、以前の悔しい思いがみなぎってきてジェスチャーなどで伝えた。すると、相手も私に伝わるように様々な方法で伝えてきてくれ、会話をするのが楽しいと思えるようになった。渡航して数日間は、伝わらない経験をし話すことが怖くなった。でも少し、伝え方を変えただけで気持ちが楽になった。言葉に頼るだけではなく、いま持っている自分のスキルを使うことで、伝えることもできるという事を学んだ。

### あなたにとっての留学の価値

今まで当たり前すべてのことに感謝しつつ、新たな自分を発見できることだと思う。なぜなら、私は今まで、日本で言葉で伝えることが当たり前で、日本語を使うこと伝わることに感謝をすることはなかった。ずっと日本にいたらこのような感情は生まれてこないと思う。また、旅行で海外へ行くのでもこのような感情は生まれないと思う。そして、仕事を通して海外へ行くのでも、違った感情になると思う。留学だったからこそ、また、私が本当に英語に自信がなかったからこそ感じる感情だと思う。新たな自分を知る環境を作れることが私にとっての留学の価値だと感じる。